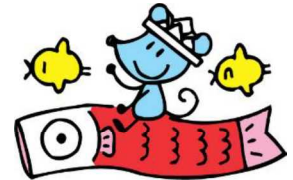




いちき申木野市立羽島中学校

5月になり、昼間はだいぶ暖かくなってきましたね。暦の上では夏の始まりです。爽やかで過ごしやすいですが、朝晩と日中の気温差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。元気に過ごすコツは、早寝・早起き・朝ご飯です。衣服の調整をして快適にすごしましょう。



## ？ どう変わる??

ニュースや新聞で「新型コロナウイルス感染症が5類になりました。」という言葉を目にしていると思います。約3年続いた新型コロナウイルス感染症との戦いに一つの節目を迎えることになりました。世間では、食堂の透明のパーテーションが外されたり、マスクの着用が個人の判断になったりと変化がありますね。

では、5類になったら、学校ではどのように変わるのでしょうか。

### 1 感染状況に応じて感染対策を講じることとなります。

#### (平時には)

健康観察や換気、手洗い等の感染予防対策を実施して生活をします。

- 普段と違う症状（発熱や咽頭痛、咳等）がある場合には登校を控えます。
- 教室は廊下側と校庭側の対角の窓を10～20センチ開けます。  
エアコン使用時も同様です。
- 石けんでの手洗いをしっかり行います。
- マスクは各自の判断になりますが、咳エチケットを守って生活します。

#### (感染が流行した場合には)

必要に応じて感染症対策を検討し、対応します。

### 2 家族に感染者がいる場合、健康観察を行って気をつけて登校します。

家族に感染が確認されても濃厚接触者にはなりません。健康観察を実施し、普段と変わらない場合には登校してください。心配なことがあれば相談してください。

### 3 罹患した場合の出席停止期間

症状が出た日を0日とカウントし、5日間が出席停止期間です。なおかつ、症状が軽快した日を0日と考え、1日が経過するまでになります。

## 咳エチケットのおさらい

覚えていますか？



マスクの着用は個人の判断になりましたが、「咳エチケット」は継続中です。「咳エチケット」とは、感染症を周りの人に感染させないために、咳やくしゃみをする際にはマスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえることです。「咳エチケット」は公共の場でのマナーです。マナーを身に付けて素敵な大人になってくださいね。

## 保健室からのつぶやき



4月でほとんどの健康診断が終わりました。



養護教諭の仕事は、健康診断が終わったら終わりではなく、その後には皆さんへの結果の通知やその後の経過を確認したり、健康相談を行ったりする仕事があります。

さて、私事ですが、年齢とともに、記憶力は低下します。残念なことに、以前はすぐに覚えられた生徒の名前も、「あー！！顔は浮かぶのに名前が出てこない！！」という困った状況になることがあります。それを回避するために、健康診断の結果のお知らせに名前を書くときには、顔を思い浮かべながら、保護者の方はどんな願いを込めて名前をつけたのかなあと想像しながら書くことにしています。生まれてから、何度も呼ばれる名前はとても大切なものだと思っています。みなさんは自分の名前をどう思っていますか。

私の息子は小学生の頃に、「こんな名前じゃなくて〇〇という名前が良かった！」と言ったことがあり、ちょっと心に引っかかっていました。ところが先日、知り合いから「いい名前だね。人を助けるという字が二つも入っていて人を助ける人になるよ。」と言われ、やっぱりこの名前にして良かったと思ったところでした。今、大人になって、自分の名前をどう思っているかももう一度息子に聞いてみたいと思います。

やっと、コロナが収束し、徐々に3年前の日常に戻ってきています。表面に記載しましたが、学校での生活は、換気や手洗い等の感染対策をしつつ、地域の感染状況をみながら考えていきます。これからは自分の判断で感染症対策をすることになります。自分の身体は自分で守ることが出来るように考えていきましょう。自分の名前と同じように、心と体も大切に出来る人に育ってほしいと思います。